

読書のすゝめ

文学散歩（国際子ども図書館）

その29

H28

10 / 6

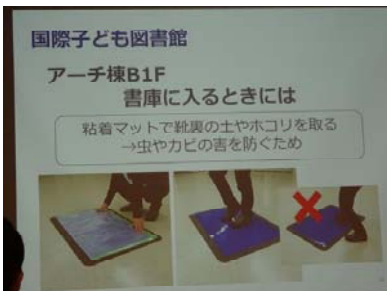


9月29日（木）。40名の参加で上野・国際子ども図書館の見学に行ってきました。
明治期に建てられて、現在は東京都の歴史的建造物に指定されている「レンガ棟」とガラス張りの美しい「アーチ棟」で構成されています。

国立国会図書館は、国会議事堂の横にある本館と上野の国際子ども図書館、そして京都にある関西館の3つから成り、職員数は869人、資料数は約4107万点を有する日本一大きな図書館です。子ども図書館では館外への本の貸し出しはできませんが、「子どものへや」「児童書ギャラリー」・「本のミュージアム」など自由に閲覧できるようになっています。また「調べものの部屋」は中・高校生のための資料室となっており、わからないことがあればカウンターの職員が対応してくれるシステムになっています。今回は個人では見ることができない地下書庫や研究資料室を含め、丁寧な解説を聞きながら館内を見学することができました。

思い出に残る研修ができたようですよ。参加者の感想を含め、詳しい報告は掲示物で報告したいと思います。

学校出発の時に降っていた雨もあがり、図書館見学後の自由時間も傘なしで移動できましたので、参加者は西洋美術館・国立博物館・科学博物館また動物園など、それぞれ



地下書庫に土やほこりを入れないように入り口の粘着マットで靴の汚れをおとします！

地下書庫内にて



元々は外壁だった美しい白レンガ



100年前のシャンデリア



さまざまな建造物の数々



「50年代の扉」



丁寧な説明に熱心に耳を傾ける参加者



なつかしい絵本見つけた！

